

再評価結果（平成16年度事業継続箇所）

担当課：道路局国道・防災課

担当課長名：中島威夫

事業名	一般国道 2 3 4 号 早来道路			事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 北海道開発局
起終点	自：北海道 ゆふつ 勇 はやきた 払 ほくしん 郡早来町字北進 至：北海道 ゆふつ 勇 はやきた 払 さかえまち 郡早来町字栄町					延長	3 . 0 km
事業概要 一般国道 2 3 4 号は、岩見沢市を起点とし、苫小牧市を終点とする延長約 7 0 km の主要幹線道路である。当該事業は、交通混雑の解消により、特定重要港湾苫小牧港へのアクセス強化による物流の効率化を図る延長 3 . 0 km の二次改築事業である。							
H 6 年度事業化		H 6 年度都市計画決定		H 8 年度用地着手		H 1 0 年度工事着手	
全体事業費		約 6 2 億円		事業進捗率		7 8 % 供用済延長 0 . 2 km	
計画交通量		1 0 , 1 0 0 台 / 日					
費用対効果分析結果		B / C (事業全体) 1 . 6 (残事業) 6 . 0		総費用 (残事業) / (事業全体) 1 4 / 5 4 億円 (事業費 : 10 / 49 億円 維持管理費 : 4 / 4 億円)		総便益 (残事業) / (事業全体) 8 5 / 8 5 億円 (走行時間短縮便益 : 79 / 79 億円 走行費用減少便益 : 2 / 2 億円 交通事故減少便益 : 3 / 3 億円)	
						基準年 平成 1 5 年	
感度分析の結果 事業全体について感度分析を実施 交通量変動 : B / C = 1 . 7 (交通量 + 10 %) B / C = 1 . 4 (交通量 - 10 %) 事業費変動 : B / C = 1 . 5 (事業費 + 10 %) B / C = 1 . 7 (事業費 - 10 %) 事業期間変動 : B / C = 1 . 5 (事業期間 + 20 %) B / C = 1 . 7 (事業期間 - 20 %)							
事業の効果等 ・物流効率化の支援 (特定重要港湾苫小牧港へのアクセス向上が見込まれる) ・個性ある地域の形成 (主要な観光地へのアクセス向上が期待される) 他 7 項目に該当							
関係する地方公共団体等の意見 苫小牧市をはじめとする関係 1 市 6 町の首長及び議会議長で構成される苫小牧地方総合開発期成会より早期整備の要望を受けている。							
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 特定重要港湾苫小牧港の取扱貨物量が年々増加していることから貨物車混入率が高い値で推移し、港湾アクセスの改善が望まれている。							
事業の進捗状況、残事業の内容等 現在までに 0 . 2 km を暫定 2 車線供用している。							
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 引き続き用地取得が順調に進めば、平成 1 6 年度頃に早来市街地部延長 2 . 0 km の供用を図り、平成 1 7 年度頃には全線を 4 車線完成で供用する予定である。							
施設の構造や工法の変更等 軟弱地盤処理工において新技術の CDM - LODIC 工法を用いる等のコスト縮減を図っている。							
対応方針 事業継続							
対応方針の決定の理由 以上の状況を勘案すれば、事業採択時から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。							
事業概要図							

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。